

# ①作土層の確保

現在、水稻における作土層で、耕深が10cm程度の浅い圃場が見られるが、耕深が浅いと、根域が狭くなり、根が水分や養分を吸収するための土壌層が減少し、生育に悪影響を与える場合がある。

作土が浅いと、、、

- ・ 上手く水分や養分を吸収できない。
- ・ 根が上部に集中し、高温や異常気象に対応できない。



作土深15cm以上を目標に耕うんを行いましょう！！